

- ☆近藤会長2019年頭挨拶
- ☆非正規労働センター「非正規労働セミナー」
- ☆女性委員会「第30回定期総会」/青年委員会「第30回定期総会」
- ☆災害支援カンパ/組合役員教育プログラム「年間スケジュール」
- ☆ネットワークSAITAMA21運動とは
- ☆愛のキャンパ地域助成/エコ活動PRアワード募集
- ☆ILEC「幸せさがし文化展」/1月の行動日程
- ☆あけぼのビル



～近藤会長 年頭挨拶～

組織力を結集し、次の飛躍へ

新年明けましておめでとうございます。

連合埼玉組合員とご家族の皆様には、よいお年を迎えられたことと心よりお慶びを申し上げます。また、日頃の連合埼玉の諸活動に対しますご理解とご協力に深く感謝申し上げます。

【結成30周年に向けて】

今年は、世界三大スポーツイベントとも言われます、『ラグビーワールドカップ』が日本で開催され、埼玉県でも熊谷市で試合がおこなわれます。また、夏季オリンピック・パラリンピックも来年(2020年)、東京都を中心に開催されるということでは、成功に向けた態勢を準備する大切な1年間となります。

アスリートの真剣にスポーツに取り組む姿をつうじ、心に響く将来に希望の持てる素晴らしい大会になることを願うばかりです。私たちも観戦やボランティアなどをつうじ、世界最高峰のスポーツの祭典を積極的に盛り上げ、応援していきたいと思います。

そして連合埼玉は、本年12月に結成30周年という節目を迎えます。

結成以来、決して平坦ではない険しい道のりを切り拓いていただき、連合埼玉をここまで作り上げていただきました、諸先輩方の高い志と情熱を絶やすことなく、更に深化させていきたいと思います。また、これまで私たちの活動に携わっていただきました、全ての皆様に感謝をしながら、仕上げる年に相応しい一年にしていくと同時に、「次の飛躍へ、確かな一歩を！」皆さんと共に実現したいと思います。

【今こそ、連合埼玉 組織力の最大限の結集を！】

一昨年の第48回衆院選以降、昨年の通常・臨時国会では日本社会のあり方や雇用・労働条件に大きな影響を及ぼす政策転換であるにもかかわらず、十分な議論が尽くされないまま、重要法案が日程ありきで可決・成立に至りました。まさに一強政治の弊害が目立つ、強引かつ一方的な法案審議の進め方、野党の質問や追及に正面から答えないまま、数の論理により採決を強行するという光景が繰り返されました。



近藤嘉会長

この様な国民不在の政治を続ける与党の暴走を阻止するためには、一人でも多くの働く者・生活者の代表を政治の場に送り出し、緊張感のある政治体制、国民の負託を受けるに相応しい政治体制を構築していかなくてはなりません。

今年、一強政治、長期政権からの転換を実現するための足がかりとして、大変重要な年になります。私たちにとって極めて厳しい情勢にはありますが、だからこそ、これまで積み重ねてきた日常の職場活動をベースに、組合員と家族の幸せのため、ひいてはすべての労働者・生活者の幸せに繋がる様、連合埼玉一丸となって果敢にチャレンジしていきたいと思います。

非正規労働者の労働条件改善に向け、職場から

～非正規労働センター「非正規労働セミナー」開催～

非正規労働者が安心して働ける環境整備や労働条件改善に向け、2018年6月に「非正規労働センター」を連合埼玉として設置した。非正規労働者には、雇用や賃金などに関して不安や問題を抱えている方も少なくはなく、労働相談にも解雇や不払い残業など相談が多く寄せられている。このような状況をふまえ、非正規労働者の実態を把握し、今後の対策につなげるため、12月5日(水)、あけぼのビルにて執行部を対象に「非正規労働セミナー」を開催した。

冒頭、浅見組織委員長からは「6月に非正規労働センターを設置し組織委員会で議論を重ねた結果、まずは執行部から問題意識を共有していくべきだ」という結論で、本日のセミナー開催となった。また日本記念日協会より3月6日が“36(サブロク)”の日に認定された。是非とも各構成組織で周知をしていただきたい」と挨拶があった。

その後、連合本部非正規労働センター久保啓子局長より“非正規労働者の現状と非正規労働者に対する取り組み”についての説明があった。

久保局長からは「連合総研の調査結果では、非正規労働者の1/3が主たる稼ぎ手であり、3/4は年収200万円未満である。また、初職非正規労働者が4割、不本意非正規労働者は5割にものぼる。さらには、非正規労働者の1割が生活苦のために食事の回数を減らしており、雇用問題は生活に直結している。また公務の現場でも非正規労働者が多くいる。同じ職場・同じ地域で働く非正規労働者が抱えている問題を、自らにつなげる課題として捉え、この改善に向けて具体的アクションにつなげていかなければならない。それぞれの職場で組織化と処遇改善を同時進行でおこなうことができるのは労働組合である。また36協定については、協定締結は55.2%にとどまっており、締結している事業所でも約4割は不適切に過半数代表者を選出していることも分かった。

連合はすべての職場でより良い働き方の実現をめざし、「action!36」をスタートさせた。この運動では36協定の適正な締結など、職場における取り組みの徹底とともに、地域や社会における機運を醸成をつう



連合本部 久保局長



セミナーの様子

じて働く人たちのセーフティネットづくりをめざしていく」と説明があった。

その後、連合埼玉に寄せられている非正規労働者からの相談について、ユニオンアドバイザーから説明を受け、参加者より質疑応答や意見交換をおこないセミナーを終了した。

【参加者からの質問】

- ・無期転換ルールで、正社員は60歳定年の再雇用で運用できるが、契約社員が無期雇用に変換した場合は、定年は正社員と同じにするほうがよいのか事例があったら教えてほしい。
- ・非正規が高止まりしており、問題が浮き彫りになっているにも関わらず組織率が上がっていない要因はどこにあるか。
- ・連合埼玉に寄せられている相談のなかで、労働組合関係の相談があるが具体的にはどのような相談が寄せられているか。
- ・連合としての非正規労働者の定義はどのようなになっているか。たとえば無期転換後の労働者はどうか。もしくは有期雇用労働者は非正規労働者とイコールなのか。
- ・職場から始めよう運動をおこなっているが、未組織と組織を分けて、非正規・正規を考えたときに未組織における非正規労働者が多いと思える。組織があれば非正規へのアプローチもやりやすいが、未組織の職場におけるアプローチについて連合が考えていることがあれば教えていただきたい。



開会の挨拶をする
浅見組織委員長



労働相談について説明する
萩原ユニオンアドバイザー



参加者からの質問

女性の参画でジェンダー平等を実現しよう!

女性委員会「第30回定期総会」

11月28日(水)、大宮ソニックシティ会議室において「第30回定期総会」を開催した。総会では、2018年度活動・会計報告ならびに2019年度活動方針案・予算案・役員選出の全議事が満場一致で承認・可決された。

冒頭、新山副委員長は「働き方改革関連法に盛り込まれている長時間労働是正、同一労働同一賃金、多様な人材の活躍に向けた働き方の刷新などの課題解決は、男女平等課題の解決に直接つながるものである。連合は男女平等課題解決のために“男性中心の労働慣行の払拭”を訴えている。この観点で各職場のワークルールをしっかりとチェックしていく必要がある」と述べた。その後、連合埼玉を代表して大谷副会長より、また来賓としてお越し頂いた連合埼玉推薦女性議員(山本・江原県議、西山・松田・小嶋市議)を代表し、山本正乃県議会議員より挨拶があった。

総会終了後、日本ソムリエ協会認定ソムリエの松田佳世氏を講師に迎え、「ワインセミナー ぶどう品種からはじめよう。ワイン入門編」を開催した。ぶどう品種によるワインの味の違いをはじめとする基礎知識を、参加者一同で楽しく学ぶことができた。



参加者のみなさん

■2019年度役員体制

役 職	氏 名	構成組織名
委員長	伏見美千代	UAゼンセン埼玉県支部
副委員長	新山 元子	運輸労連埼玉県連
	細川千恵子	ユニオン連合埼玉
事務局長	中里 弘子	自動車総連埼玉地協
事務局次長	石川智恵美	埼交連
幹 事	倉持 萌香	電機連合埼玉地協
	牧 純子	JAM埼玉
	日比谷富貴子	自治労埼玉県本部
	並木美千代	JP労組埼玉連絡協議会
	腰塚 裕子	埼玉県電力総連
	桑川 恵子	情報労連埼玉県協議会
	笠原 梢	国公総連埼玉
	滝沢千恵美	埼玉教組
	猪瀬久美子	政労連埼玉地連
	板場 彩	全労済労組埼玉支部

■退任役員

役 職	氏 名	構成組織名
委員長	上杉 裕子	電機連合埼玉地協
幹 事	鈴木恵美子	埼玉県電力総連
	高坂 優衣	政労連埼玉地連
	藤野 直美	中央労金労組埼玉統括支部

新体制のもと更なる青年委員会活動の活性化を

青年委員会「第30回定期総会」

11月29日(木)、あけぼのビルにおいて青年委員会「第30回定期総会」を開催した。

冒頭、佐藤委員長からは「若年労働者にスポットをあてた政策制度の実現のためにも、来年の選挙は非常に重要な位置づけとなる。より多くの組合員と対話し、政治を日常的で身近なものと感じてもらふこと、投票にってもらふこと、その活動は青年委員会の重要な役割の一つである」と挨拶があった。

総会では2018年度の活動報告、会計報告につづき、2019年度の活動方針、予算、役員体制が満場一致で可決した。また、本総会において、これまで2年間委員長を務められた佐藤委員長が勇退され、龍口新委員長へとバトンが引き継がれた。龍口新委員長からは「明るく元気に前向きに青年委員会の活動を盛り上げていく。構成組織からの引き続きのご支援・ご指導をお願いします」と新執行部を代表した挨拶の後、「ガンバロー三唱」にて総会は閉会した。



団結ガンバロー

■2019年度役員体制

役 職	氏 名	構成組織名
委員長	龍口 隆二	印刷労連
副委員長	庄司 洋志	自治労埼玉県本部
事務局長	川島 貴至	運輸労連埼玉県連
事務局次長	白戸 貴文	電機連合埼玉地協
幹 事	岡 勇介	自動車総連埼玉地協
	佐藤 洪	UAゼンセン埼玉県支部
	塚原 美臣	JAM埼玉
	荒明 総一	JP労組埼玉連絡協議会
	杉田 芳彰	情報労連埼玉県協議会
	安齋 将太	埼玉県電力総連
	青木 貴嗣	JEC連合埼玉地連
	杉本 健太	JR総連埼玉県協
	小野 舞斗	全国ガス埼玉
	塩原 祥男	政労連埼玉地連

■退任役員

役 職	氏 名	構成組織名
委員長	佐藤 洋太	UAゼンセン埼玉県支部
幹 事	岩崎 龍一	自動車総連埼玉地協
	北川 潤也	JEC連合埼玉地連
	安達 真明	全国ガス埼玉

被災地に寄り添った活動の継続を

「西日本豪雨災害」ならびに「北海道胆振東部地震」支援カンパ

11月16日までを取り組み期間とし、連合埼玉は地域協議会、埼玉シニア連合などと連携し、「西日本豪雨災害」ならびに「北海道胆振東部地震」支援カンパを実施した。

「西日本豪雨災害」に対しては、地域協議会へ取り組み要請をおこない、県内全域での支援カンパを実施した。期間中に協力いただいたカンパ金は合計で419,822円となり、連合「西日本豪雨災害」支援カンパへ拠出した。拠出したカンパ金は特に被害が大きかった広島県、岡山県、愛媛県に対する義援金などに活用される。

また、「北海道胆振東部地震」に対しては、実施については各地域協議会の判断に委ねるものとし、連合北海道が実施する支援カンパへの協力に取り組んだ。期間中に協力いただいたカンパ金は合計で30,271円と

なり、「連合北海道胆振東部地震支援カンパ」へ拠出した。拠出したカンパ金は特に被害が大きかった地域自治体への寄付として活用される。なお、執行委員会の確認のもと、連合埼玉「ふれあい募金」より、それぞれの支援カンパに対し20万円ずつ拠出もおこなっている。

連合埼玉は、引き続き被災地に寄り添いながら、一日も早い復旧・復興、日常の生活を取り戻すことにつながるよう活動を続けていく。



大宮駅でのカンパ活動



朝霞・東入間地協によるカンパ活動

組合役員教育プログラム年間スケジュール

2019年度は下記のスケジュールにて開催します。基礎講座は募集中となっており、実務講座については3月下旬に、スキルアップは6月下旬より受講者の募集をおこないます。すべての講座は参加費無料となっていますので、多くの皆さんの参加をお待ちしております。

■基礎講座

時間10:00～17:00

開催日・場所	講座内容
1/26(土) あけぼのビル3F	①労働組合の意義と機能 ②組合役員の立場と役割
1/30(水) あけぼのビル3F	③組合役員のためのコミュニケーション力開発①(リスニング) ④会議の進め方①(職場討議・集会の進め方)
2/2(土) ときわ会館	⑤これだけは知っておきたい労働法(労働法初級) ⑥健全な労使関係と働き方のルール(労働法中級)
2/6(水) あけぼのビル3F	⑦労働組合の社会的役割～労働運動の起源 ⑧埼玉県労働福祉運動の役割

■実務講座

場所:あけぼのビル3F 時間:14:00～18:00

開催日	講座内容
5/15(水)	⑨労働組合の意義と機能
5/18(土)	⑩組合役員の立場と役割
5/22(水)	⑪労働組合が取るべき経営対策活動とは?
5/25(土)	⑫メンタルヘルスと職場での取り組み方
5/29(水)	⑬キャリア開発(より良い働き方を考える)
6/ 1(土)	⑭ミッション・ビジョンの重要性(過去から未来へ)

■スキルアップ

場所:あけぼのビル3F

開催日・時間	講座内容
8/24(土) 13:00～17:00	⑮プレゼンテーション (納得性を高める伝え方)
8/28(水) 10:00～17:00	⑯組合広報誌の作り方
8/31(土) 13:00～17:00	⑰組合役員のためのコミュニケーション力開発②(アサーション)
9/4(水) 10:00～17:00	⑱組合役員のためのコミュニケーション力開発③(コーチング)
9/11(水) 10:00～17:00	⑲会議の進め方② (ユニオンファシリテーション)
9/14(土) 13:00～17:00	⑳イベント企画の立て方とその運営

ネットワークSAITAMA21運動(ネット21運動)

全組合員に対する周知・理解活動で、一層の普及・拡大を!

ネットワークSAITAMA21運動って?

ネット21運動は、連合埼玉と埼玉労福協が推進母体となり、勤労者の暮らしを生涯にわたってサポートする運動や子育てや介護をはじめ、地域社会で解決しなければならない問題に取り組むため、労働運動や労働者福祉運動と、埼玉県内の様々なNPOや市民団体との連携を通じ、働く者と地域の市民が出会い、理解しあって、勤労者の生活と暮らしを支え合う「共生の地域社会づくり」をめざす運動です。

具体的な活動は?

ネット21運動では、「共生の地域社会づくりへの積極的な参画」「勤労者の生涯にわたる暮らしのサポート活動」「市民社会との連帯と協働」をめざして、3つのプログラムと特別事業に取り組んでいます。

1. ライフサポート・プログラム

- 1) 相続や資産運用、カードローン、介護、健康増進等、生活・暮らしに関わる多様な研修メニューによる「暮らし応援セミナー(出前講座)」
- 2) 勤労者のライフサポート(生活・暮らしサポート)の観点から、生活困窮者等への支援に取り組む団体等と連携し、必要な支援をおこなう「生活困窮者支援」

2. ボランティアサポート・プログラム

- 1) 特技や趣味を活かし、ボランティア活動などを通じて地域社会に貢献したい、参加したいと思っている50才以上の方に登録してもらい、ボランティア活動やNPO活動などを紹介・案内する「シニア人財バンク」
- 2) 自然環境のなかでの、「親子自然環境体験・ボランティア体験」を毎年尾瀬で開催しています。またNPO応援・物品助成プログラム助成団体のひとつである“ときがわ山里文化研究所”との連携・協働で実施する事業として、夏休み親子自然体験教室「山の学校inときがわ」を実施しています。

3. NPOサポート・プログラム

- 1) 地域で活動・活躍するNPO等の支援として「物品等助成事業」をおこなっております。具体的には12年前より毎年パソコン助成をおこなっており2018年度までに121団体に寄贈いたしました。またパソコン以外でも緊急時の少額物品等助成もおこなっており、2017年度は2団体に助成いたしました。さらに、毎年パソコン寄贈団体へ運営委員会メンバーが訪問し、活動や近況、連携について意見交換をおこない、双方の理解を深めることをおこなっております。
- 2) NPO活動への理解と具体的な社会参加をサポートする事業として、2017年12月9日に“ネット21運動でつながるNPOと労働組合”と題しシンポジウムを開催いたしました。今後ますます地域で労働組合とNPOの連携が深まることを目的とし「地域でセミナー」を開催しております。

4. 東日本大震災被災者・避難者支援活動 ※特別事業

2013年度より、家族の絆づくり、子育て支援などをコンセプトに、バーベキューファミリー交流会inサイボクハム、ママランチ会等を実施しております。

ボランティアカードとは?

ボランティアカードは、「ネット21運動」への協力の証として発行されるものです。ご協力をいただいたカード協力金(500円)の内、契約料やカード代などを差し引いた額が「ふれあいコミュニティ・ファンド」に寄付され、各種セミナーやNPOへの支援など、「ネット21運動」の様々な事業に活用されています。

詳細はホームページ(<https://net-saitama21.jp>)でご確認ください。



「連合・愛のカンパ」地域助成・支援団体募集中!

「連合・愛のカンパ」では、社会貢献活動に取り組むNPO・NGO団体の支援活動をおこなっています。連合組合員およびその家族、あるいは退職者が、積極的に運営に参加している団体がおこなう事業・プログラム、または地方連合会が日常的な活動で連携している団体が行う事業・プログラムを対象とし、助成金を寄贈していますので、お知り合いのNPO団体がありましたら、ぜひ、ご紹介ください。

【応募期間】

2019年3月31日(日)まで

※応募には地方連合会の推薦が必要となりますので、まずは、連合埼玉・連帯活動局までお問い合わせください。
詳細は、連合ホームページをご覧ください。
(<https://www.jtuc-rengo.or.jp>)

【対象となる社会貢献活動】

1. 大規模災害などの救援・支援活動
2. 戦争や紛争による難民救済などの活動
3. 人権救済活動
4. 地球環境保全活動
5. ハンディキャップをもった人たちの活動
6. 教育・文化などの子どもの健全育成活動
7. 医療や福祉などの活動
8. 地域コミュニティー活動
9. 生活困窮者自立支援活動

連合・愛のカンパとは?

人道主義の立場から「自由、平等、公正で平和な世界の実現」に向けた社会貢献活動として取り組むもので、NGO・NPO団体などの事業・プログラムへの支援、および自然災害などによる被災者に対する救援・支援を目的としています。



連合 労働組合のエコ活動PRアワード2018

労働組合や組合員一人ひとりの環境に対する意識は高まる一方で、運動への参加の呼びかけをどのように行うか悩んでいる組織が多く見られます。そこで連合は、今年度から「労働組合のエコ活動PRアワード」として、環境への取り組みを呼びかける広報活動やPR方法に工夫を凝らしている組織を表彰する制度を創設しました。大切なのは、図柄やデザインの良し悪しではなく、組合員の皆さんに呼びかけ、応えてもらうことです。皆さんのエコ活動広報素材、ふるってご応募ください!

※募集要項等については、Webサイトにてご確認ください。

連合
労働組合のエコ活動
**PR
アワード**
2018

みんながエコに
“取り組みたくなる”
**広報・宣伝素材
大募集!!**

募集内容
2017年4月～2019年3月の間に、環境の取り組みに関して、労働組合組織の広報や、取り組み呼びかけに用いられた媒体(記事、ポスター、チラシ、電子媒体、グッズなど)とその背景
エコ活動、「何を」、「どのように」呼びかけていますか?

応募期間 **2018年8月1日～2019年3月31日**

詳しくはWebで! **連合エコPR** **検索**

URL <http://www.rengo.org/ecopraward.html>

第11回連合・ILEC「幸せさがし文化展」募集要項

「連合・ILEC幸せさがし文化展」は、日頃から創作活動に励む、働く仲間とその家族が作品を発表する場として開催します。絵画・写真・書道・俳句・川柳の5部門にて作品を募集します。各部門において、連合大賞・ILEC大賞のほか、満15歳以下を対象としたジュニア特別賞も設置されています。組合員、組合役職員、組合OB・OG、組合関係者の家族に限らず、学生の方、一般の方など、どなたでも応募できますので、積極的な参加をお願いいたします。

応募期間

2019年2月1日(金)～5月31日(金)

※詳細はWebサイトにてご確認ください

お問い合わせ

(公社)教育文化協会(略称 ILEC)

URL: <http://www.rengo-ilec.or.jp>

第11回 連合・ILEC      どなたでも応募できます!

幸せさがし文化展

働く仲間とその家族の公募展

俳句・川柳の部
連合大賞・ILEC大賞 各5万円ほか

絵画・写真・書道の部
連合大賞・ILEC大賞 各10万円ほか

作品募集 募集期間 **2019年 2月1日～5月31日**

詳細は、Web サイトへ…

幸せさがし文化展

検索

●主催 連合／(公社)教育文化協会 ●お問い合わせ (公社)教育文化協会(略称: ILEC) TEL.03-5295-5421



現在予定される1月の日程表です

1月	連合埼玉・事務局	行事等
1日 火		
2日 水		
3日 木		
4日 金		
5日 土		衆議院議員小宮山泰子後援会「新春の集い」(12:00～・川越プリンスホテル)
6日 日		
7日 月		①連合2019新年交歓会(16:00～17:30・ホテルラングウッド) ②埼玉新聞社「新年賀詞交歓会」(17:00～・浦和ロイヤルバインズホテル)
8日 火	①第2回四役・執行委員会(10:00～13:00～ときわ会館) ②2019新春のつどい(16:00～ときわ会館)	
9日 水		①連合「2019連合白書」説明会(13:30～・連合会館) ②建設埼玉「2019年新春の集い」(15:00～・ラブレ埼玉) ③自治労埼玉県本部「2019旗ひらき」(18:00～・さいたま共済会館)
10日 木	第1回組織委員会(16:00～・連合埼玉会議室)	①埼玉県経営者協会「新年会員懇談会」(13:30～・パレスホテル大宮) ②部落解放同盟埼玉県連「新春旗ひらき」(16:30～・サンルートホテルガーデンパレス)
11日 金		①連合関東ブロック連絡会幹事会(11:00～・連合会館) ②地方連合会事務局長会議(13:30～・全電通ホール) ③情報労連埼玉県協議会「2019年新春の集い」(15:00～17:00・ときわ会館) ④JFP労組埼玉連協「2019新春の集い」(16:00～・マロウドイン熊谷) ⑤東部地域協議会「2019新春のつどい」(18:30～・和風レストラン「むさし」)
12日 土		①北埼玉地域協議会「地協委員会」(9:30～・羽生市民プラザ) ②埼玉教組「2019年新春旗開き」(18:00～・さいたま共済会館)
13日 日		
14日 月		電機連埼玉県協議会「2019新春旗開き」(18:30～・ホテル木暮)
15日 火	第1回広報委員会(10:30～・連合埼玉会議室)	
16日 水	①第1回組合役員教育プログラム運営委員会(16:00～・連合埼玉会議室) ②第2回官公労部門連絡会(18:30～・連合埼玉会議室)	①川越・西入間地域協議会「第7回幹事会」(18:30～・ネット21川越) ②比企地域協議会「第2回幹事会」(18:00～・中央労金東松山支店)
17日 木		①埼玉労協理事會(10:00～・ときわ会館) ②交通労協「新春旗開き」(18:00～・大宮サンパレス)
18日 金		
19日 土		①JAM北関東災害ボランティア活動隊ARCS2019年度「新規隊員研修(初級)」(10:30～16:00・JAM埼玉友愛会館) ②川越・西入間地域協議会「第6回地協委員会」(14:00～・ラ・ポア・ラクテ)
20日 日		
21日 月	第1回地協議長・事務局長会議(14:00～・埼玉会館)	公明党埼玉県本部「新春賀詞交歓会」(18:00～・浦和ロイヤルバインズホテル)
22日 火		①埼玉地方労働審議会「家内労働部会」(9:00～・埼玉労働局) ②川口・戸田・狭地域協議会「第9回定期総会」(18:00～・19:30～・川口リリア) ③埼玉県私鉄「2019年団結旗開き」(18:00～・さいたま共済会館)
23日 水	①第1回政策・制度委員会(15:30～・連合埼玉会議室) ②青年委員会(新設)第2回幹事会(14:00～・あけぼのビル502)	
24日 木		①本庄・児玉郡地域協議会「第16回地協委員会」(18:00～・19:00～・埼玉グランドホテル本庄) ②社民党埼玉県連「新春のつどい」(18:00～・さいたま共済会館)
25日 金		さいたま市地域協議会「第14回地協委員会・旗開き」(18:15～・ときわ会館)
26日 土	組合役員教育プログラム基礎①②(10:00～・あけぼのビル)	
27日 日		運輸労連埼玉県連「2019年旗開き」(14:00～・ホテル鬼怒川御苑)
28日 月		JAM埼玉「2019躍進パーティー」(17:30～・パレスホテル大宮)
29日 火	埼玉シニア連合「第1回四役・幹事会」(13:30～・15:00～・連合埼玉会議室)	①第3回構成組織・地方連合会「広報・教育担当者会議」(13:00～17:15・連合会館) ②熊谷・深谷・寄居地域協議会「第6回地協委員会」(2019旗ひらき)(キングアンバサダーホテル熊谷)
30日 水	組合役員教育プログラム基礎③④(10:00～・あけぼのビル)	①「広報担当者研修会(応用編)」(9:30～16:00・連合会館) ②JFP総連埼玉県協議会「2019旗ひらき」(18:30～)
31日 木		連合非正規労働センター「第2回地方連合会担当者会議」(同一労働同一賃金に関する学習会)(13:30～・連合会館)

Akebono Building

あけぼのビル

事務局長

佐藤 道明

◆国民の政治不信をより一層深めた国会運営

第4次安倍改造内閣発足後初めての国会となった第197臨時国会は、48日間の会期を終え、12月10日に閉会した。過去の不誠実な国会運営をかえりみることなく、ずさんな法案の提出や日程ありきで十分な審議はおこなわれず、立法府としての国会を軽視し、国民の政治不信を助長する国会運営をおこなった政府・与党には猛省が必要である。

今国会では国民生活に大きな影響を与える複数の重要法案が、熟議を尽くされないまま成立に至った。とりわけ、入管難民法改正法案については、制度設計の詳細を省令などに白紙委任したととれる極めて欠陥の多い内容であったが、数の力で強行的に採決された。

通常国会においても、働き方改革をめぐる政府の調査データに誤りがあり混乱を招き、また、森友学園問題では、政府にとって都合のいいように改ざんされた資料が国会に提出されるなど、立法府を愚弄する不祥事が相次いだ。

国会で法案の精査もおこなわず、成立させることだけが目的化した現状は、国会の立法機能を無下にすめるものであり到底容認できるものではない。

◆国会の役割を正常化させることが急務

今後、社会の不確実性が増すなかで、数々の課題に対処していくためには、多様な国民の声を代表する国会が熟議を尽くし、社会的合意形成をはかる必要がある。そのためにも、国会が立法府としての機能を果たすことが強く求められているが、第2次安倍内閣発足以降、政府・与党には弛みや驕りが蔓延し、独善的な国会運営が続いている。

そもそも国会は、権力の濫用を防ぎ、国民の権利や自由を守る三権分立の一角を担うものであり、憲法で定められた国権の最高機関である。行政監視機能も含め国会の役割を正常化させることは急務であり、与野党が党派を超え積極的に対応されることを強く望む。

◆第25回参議院選挙に向けた政策協定締結

連合は、健全な議会制民主主義を取り戻し、政策で切磋琢磨する緊張感ある二大政党的体制をめざすために、立憲民主党および国民民主党と11月30日に第25回参議院選挙に向けた政策協定を締結した。日本

で働き・暮らすすべての人が、未来に希望を抱くことのできる「つづく社会」「つづきたい社会」を、めざす社会像として共有し、その具体化に向けて共に取り組むことに合意する政策協定である。

2019年は、第19回統一地方選挙と第25回参議院選挙が重なる12年に一度の重要な年である。働く者・生活者の立場に立つ政治勢力の拡大に向け、連合埼玉は組織の総力を挙げた闘いを展開する。

◆2019決戦、いよいよ本格化

第19回統一地方選挙は、地域と住民の暮らしを守るため、働く者・生活者の立場に立った政治勢力の拡大をはかり「働くことを軸とする安心社会」をはじめとする連合の政策実現に向けた重要な闘いである。

候補者の推薦状況は、12月5日現在、県議会議員選挙13名(内、組織内4名)、さいたま市議会議員選挙11名(内、組織内4名)、一般市・町議会議員選挙19名(内、組織内7名)の計43名(内、組織内15名)である。

第25回参議院選挙は、10構成組織が比例区組織内候補者の擁立を決定し、勝利に向けた取り組みが進められている。埼玉選挙区においては、立憲民主党は既に公認候補を擁立し2019年の決戦に向けた準備を進めている。一方、国民民主党も12月19日に公認候補を決定し、ようやくスタートラインに立つことができた。今後は両党の公認候補の推薦をおこなうとともに、立憲民主党から出馬する5名の組織内候補と国民民主党から出馬する5名の組織内候補の当選をめざして、埼玉選挙区両党の候補者と連携・協力体制をどのように構築するのか、組織力を最大限結集し得る環境を整えていきたい。

参議院選挙は政権の中間評価の機会でもあり、その意味で第19回参議院選挙では、民主主義がないがしろにされている日本の政治状況が国民から厳しく問われて然るべきである。また同時に、野党再生のひとつの試金石でもあり、次期総選挙に向けた重要な足固めの場でもある。第19回参議院選挙を健全な議会制民主主義を取り戻す極めて重要な取り組み、かつ政権交代可能な二大政党的政治体制の一翼を担う勢力構築の足がかりと位置づけ、連合埼玉に集うそれぞれの組織が最大限の力を発揮しなければならない。

私たちは国や地方自治体に直接働きかけられるよう、「連合の政治理念」を共有できる政党や政治家と連携・協力していく必要がある。第19回統一地方選挙ならびに第25回参議院選挙の闘いは、いよいよ本格化する。勝利に向け共に頑張ろう。

2018.12.20